

銅・アルミ

市況見通し

2月

橋本アルミ取締役 橋本 健一郎氏レポート



銅

18年12月の伸銅品生産は前年同月比で0・6%減の6万5000tで、3カ月ぶりの減少だった。内需は5万4518tで同0・5%増、輸出は1万1314tで同5・6%減。同3・2%増の467万2千t、銅スクラップが72万tまで回復。70%

銅 銅輸出は、電気銅が同76・7%増の1万2000t、再生銅が同1・3%減、輸出が同2・6%減だった。12月の銅電線出荷は同1・4%減の5万6700tで、うち国内が同1・3%減、輸出が同2・6%減だった。

2月銅市況予想レンジ

LME銅セツルメント	5800~6300*	上伸
電気銅産値	68~75万円	上伸
為替(1%)	101~111円 (1カ月間T/M)	変わらず

万向突回復してきていいることや先行きの相場不透明感から逃げ売りが出ているのではないかと見ている。需要面は足元の生産状況は変わりなく堅調。メーカーの購入意欲は高くはないが慢性的な原料不足で品質の良いスクラップは需要がある。ただ低品位のスクラップは中国輸入環境規制の問題から価格状態であり、購入されない。

2月アルミ市況予想レンジ

LMEアルミ現物後買	1800~2000*	変わらず
スクラップ	マイナス5円~0円 (前月最終価格より)	変わらず
為替(1%)	101~111円 (1カ月間T/M)	変わらず

強まっている。解決まではいかないが、米国の生産量は同2・7%減の6万5000tで、3カ月ぶりの増。春節明けの中国は中国の購買担当者景気指数(PMI)が好況指数の分かれ目である50を下回り、中国政府が減速傾向の同国経済の安定化に向け一段の景気刺激策を推進する姿勢を示した。このため向うの景気対策が行われると見ている。

アルミ

昨年12月の圧延品生産出荷は板類、押出生産合計で同6・4%減の15万6467tで、12カ月の連続減。板類の塊があり、スクラップ生産量は同8・8%減の購入意欲は薄いので9万4480tで12%減と見ている。

銅スクラップ 景況予想

電気銅産値は1月の月初の69万円から足元72万tまで回復。70%

NICオートテック 清州市の新工場名称 「愛知事業所」に 9月竣工へ



愛知事業所、完成予定



左が不二サッシ吉本選手、右が吉本選手

新工場の稼働と同時に、名古屋市内にある現在の愛知事業所の機能を移す。

不二サッシ

プロゴルファー 吉本選手と契約

不二サッシはプロゴル、今後は同社のロゴ入りのフアーの吉本選手と、キャンプやウェアなどを1年間の所属契約を結んだ。国内外のゴルフーナメントに出場する。吉本選手は2018年日本女子アマチュアゴルフ選手権で3位入賞し、プロとして本格参戦する。

耐積雪タイプ の屋根を発売

三協立山

を担う工場は、富山、愛知、埼玉、福岡の計4拠点となる。

三協立山は身体障がい者駐車スペース向けの屋根「ウェルハート」を発売する。写真の息吹をえを拡充すると発表した。3月から新たに積雪地域でも設置可能な耐積雪型「150」仕様の製品を発売する。高い強度と合わせて高さ3千タイプもラインアップする。

海外非鉄金属

伸、高、ともに反落

国の春節休暇であって日に期限を迎える米中方向感にして1週間、買収協議の進展状況や

小反落、ニッケル・真物は、亜鉛は真物が44・25

度に加えて、禁止めを標準装備し屋根下の雪の落ちを抑えたことが特長。また風速38m/sまで対応可能な高い耐風圧強度も有している。